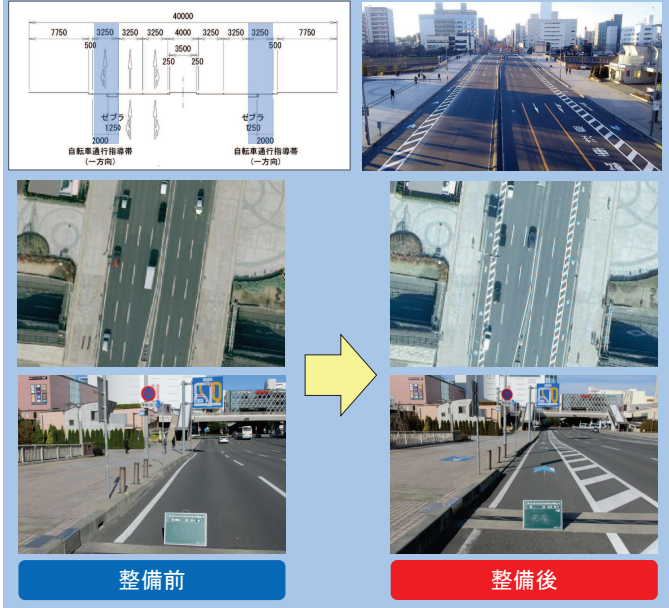


### 幹線市道39号線における自転車通行空間の特徴



### 片側3車線の道路を2車線化！

#### 2車線分をまるまる自転車通行空間に転用



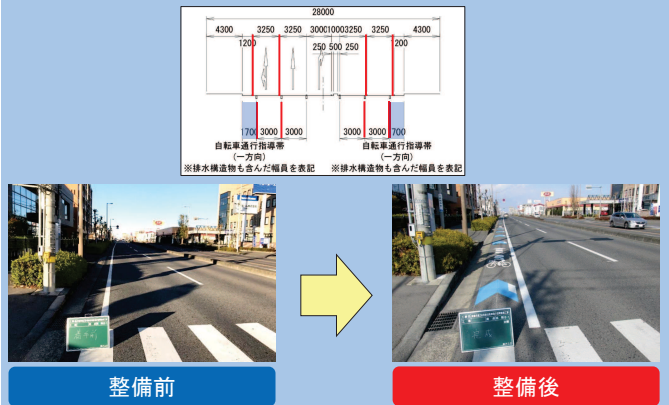
### 全線にわたり「駐停車禁止(降車を除く)」！

#### 自転車通行空間の確保を交通規制上も担保



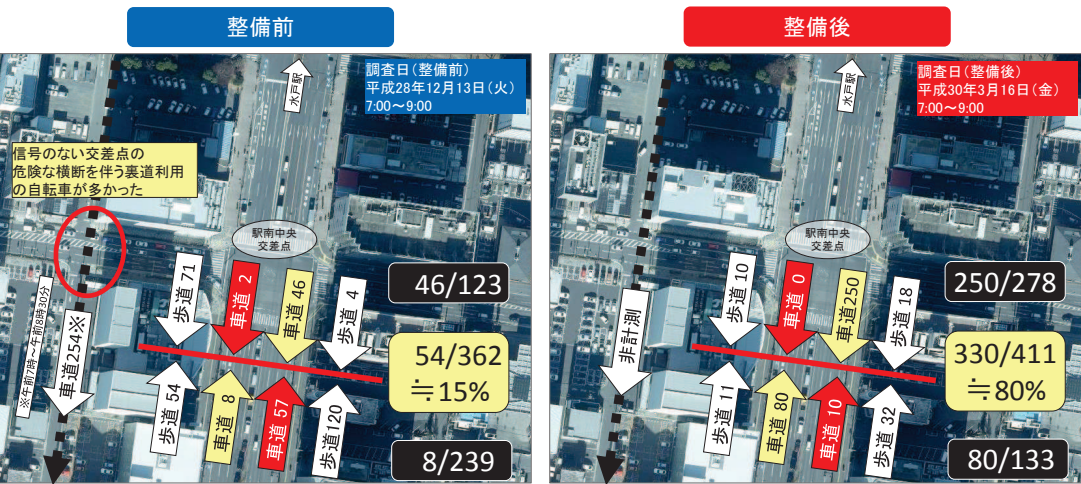
### 車線幅員を1車線あたり25cm削減！

#### 幅員1.0m以上の自転車通行空間を実現



### 整備効果の検証

### 自転車の通行位置ごとに断面交通量を計測し、整備前と整備後を比較



車道左側を通行する自転車は全体の15%にとどまり、特に水戸駅方面に向かう自転車は、**車道逆走**や歩道通行が頻発していた。

水戸駅からの自転車通行は、高校生を中心に信号のない交差点の危険な横断を伴う裏道利用の自転車が**多く**、交通事故も発生している状況であった。

整備後に、沿線高校や警察と協力し、立哨による通行指導を実施した結果、車道左側通行遵守率は**80%**にまで向上した。

また、裏道利用は、沿線高校が生徒に通行自粛を呼びかけた結果、通行する自転車がほとんどいなくなり、幹線市道39号線の**車道左側**を通るようになった。

### 工事概要

**工事名**  
幹線市道39号線自転車通行空間整備工事

**工期**  
平成29年10月14日から平成30年3月15日まで 153日間

**工事費**  
40,176,000円 (防災・安全交付金(道路局)事業)

**工事概要**  
施工延長 L=2.6km  
矢羽根 W=0.75m N=448箇所, W=0.90m N=217箇所  
ビクトグラム N=168箇所 区画線W=0.15m L=4,938m

**路面表示構造図(一部抜粋)**

